

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、平均並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシ・ウルメイワシが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週の3.1倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり12kgの水揚げで、前週の3倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり450kgの水揚げで、前週の3.4倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり130kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5.2トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり846kgの水揚げ。対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり53kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり191kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキなどが1日1統当たり342kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/29～10/4の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～桧山沖で操業。鳥取県西部（沖合船）5日延11隻、総計1,023箱、1航海最高177箱、平均93箱。スルメイカ（20～25入）146箱、ケンサキイカ（2～4立）877箱の混獲となった。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>